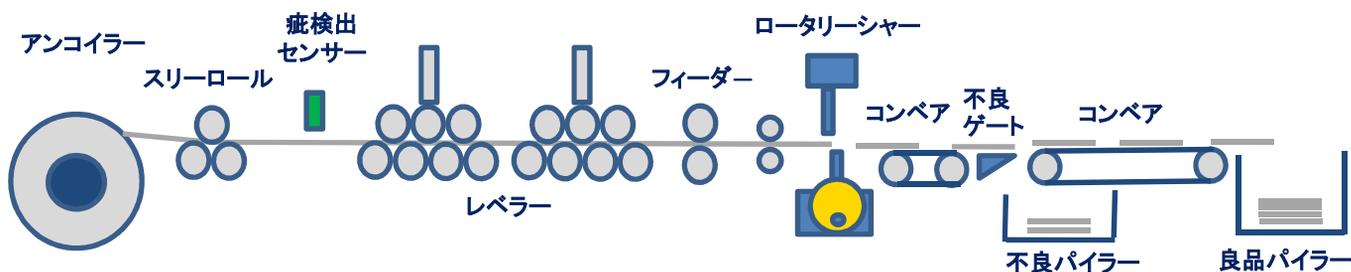


鋼板のレベラーライン



<制御技術>

■アンコイラー部単独制御

SS4000シリーズ採用により電源回生方式も可能。

アンコイラー単体での納入実績、アンコイラーを含む納入実績が豊富なため、最適な構成を弊社製品で構成可能。

■アンコイラー、スリーロール及びレベラー部の制御

常時回生のアンコイラーに対して、力行のスリーロール、レベラーを共通バス化することで省エネを実現。

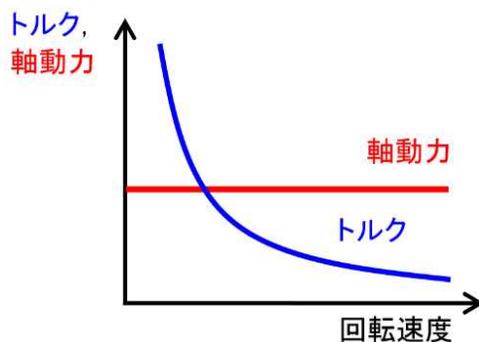
弊社一括で盤を制作できるので、省エネラインを構築可能。

『(スリーロール+レベラーのモータ容量) ≥ アンコイラーのモータ容量』のとき

■アンコイラー駆動の定出力モータの採用<図1>

回転速度が変化しても軸動力(=出力)が一定となる特性をもち、トルクは回転速度に反比例。

この特性を生かし、アンコイラーの径と張力の関係を合わせることで、張力に対してモータを小容量化でき、機器の小型化を実現。



<図1>モータ回転数とトルクの関係性

<特長>

トルクブースト機能

厚板や高張力鋼板などの生産時にアップカットシャーをトルクブースト機能を使用することでシャー刃が材料を噛み込んだまま停止するなどの不具合を抑制。

厚板の矢切防止

アップカットシャーにて厚板切断時にコサインコンペン機能により矢切の抑制。切断面の精度が向上。



矢切れ品

良品

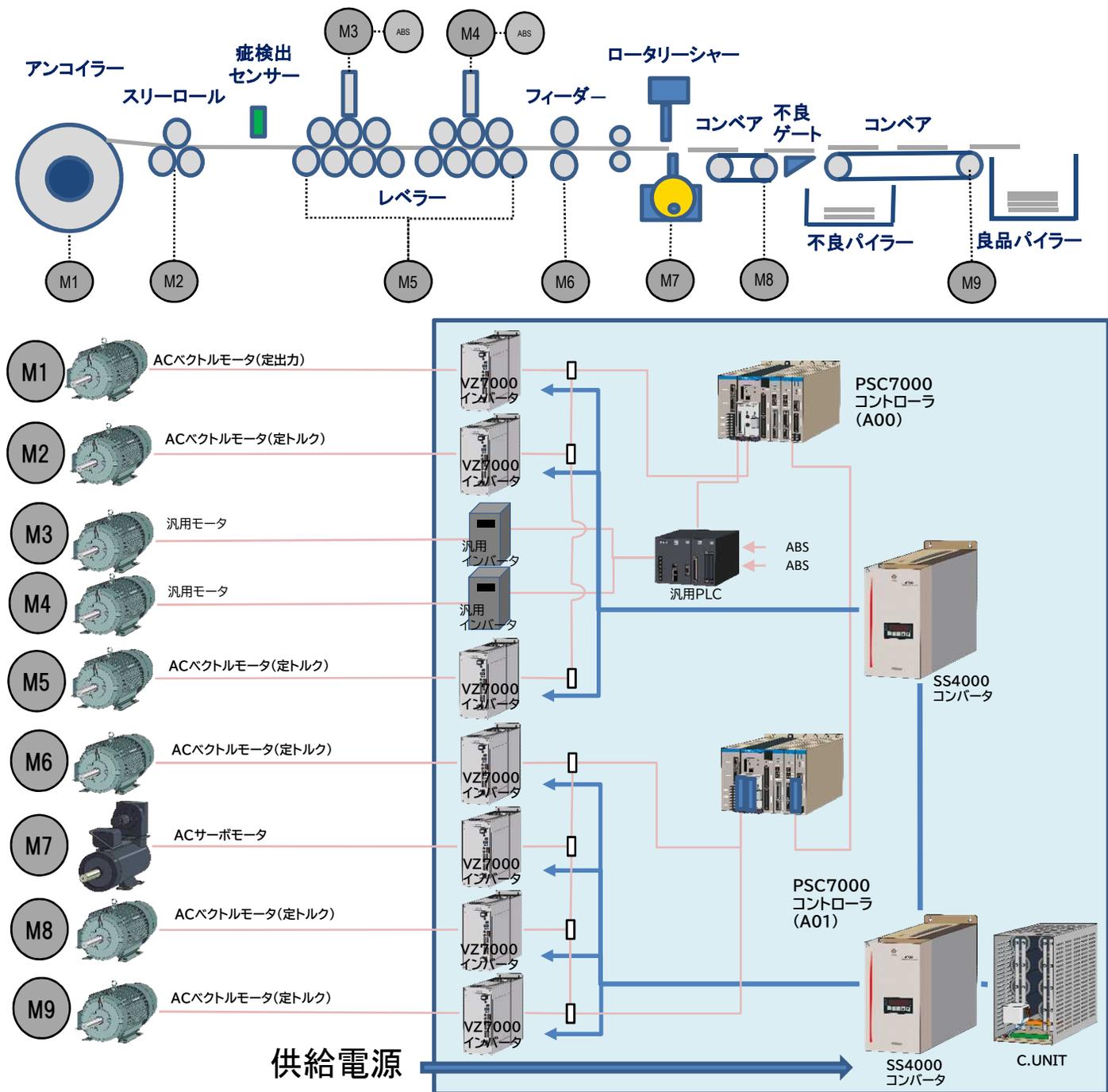
トラッキング機能

疵検出用のセンサーやCCDカメラにより、疵(不良部)を検出した位置から追尾制御を行い、製品長から不良切断長に切替え、疵の有る板だけを不良パイラーに落とす様に、不良ゲートの開閉タイミングのトラッキングコントロールをPSC7000コントローラにて制御可能。

省エネ

常時回生のアンコイラーと常時力行のスリーロール、レベラー、共通バス化することで受電容量を下げる事が可能。
また常時力行のフィーダー、コンベアと加減速を繰り返すロータリーシャーを共通バス化し、且つコンデンサバンクを併用することで受電容量を下げる事により省エネを実現。
これらを制御盤及び制御を一括にて制作可能。

制御構成図



株式会社 REJ

<https://www.rej.jp/>

営業本部

〒236-8641 神奈川県横浜市金沢区福浦2-3-2
TEL:045-791-3115 FAX:045-785-0276

大阪営業所

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島7-4-17
新大阪上野東洋ビル(9階)

TEL:06-6889-5715 FAX:06-6889-5788

名古屋営業所

〒446-0072 愛知県安城市住吉町7-24-8

TEL:0566-96-6020 FAX:0566-96-6022



- 本資料は一例です。お客様の装置に合わせ最適なアプリケーションを提供します。
- 製品改良のため、お断り無く定格・仕様を変更する場合があります。
- 製品の色は印刷の関係で、実際のものとは異なることがあります。
- カタログ中に記載している名称は、各社の商標または登録商標です。